

4

Annual Report 2015

委員会

委員会組織図

活動報告

病院機能向上推進室会議

研修管理委員会

院内感染対策委員会

栄養管理委員会

防火管理委員会

労働安全衛生委員会

救急部運営委員会

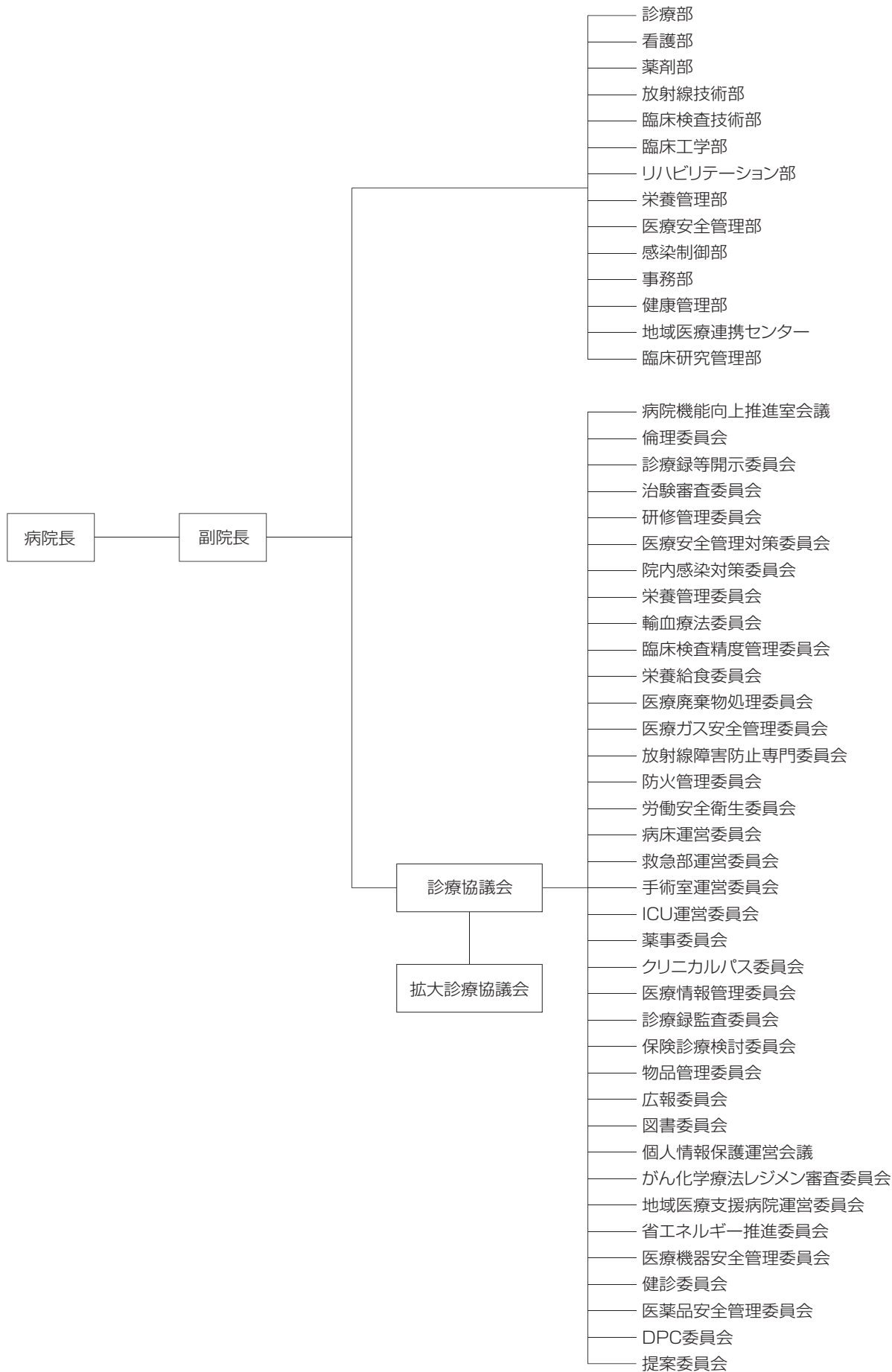
薬事委員会

クリニカルパス委員会

医療情報管理委員会

委員会組織図

2016年3月31日現在



4
委
員
会

病院機能向上推進室会議

目的

医療サービスの質向上および職場環境の向上に関して、病院職員が組織横断的かつ主体的に取り組み、患者さん、および職員の満足度を向上することを目的として活動しています。

活動状況

①外来満足度調査の分析に、各項目の全体満足度への影響度を取り入れ、新たな問題点の抽出を行いました。②各検討課題について新規活動検討、事案フィードバック、広報の3チームに分かれ、内容を検討し、討議しました。③職員の体質改善や健康意識への向上を目的に「脱!体脂肪No.1選手権」を開催しました。④接遇ワーキンググループにて職員の接遇向上のための研修会を部署ごとに行いました。ナイスですカードの活用、広報や、接遇優秀者の表彰も行いました。⑤患者さん向けの各種ご案内リーフレットを作成しています。⑥機能向上通信を職員向けに発行し、活動内容を周知しています。

重点目標・評価と来年度への展開

2015年度は、「外来満足度調査」で例年満足度の高く、病院全体の満足度への影響力がある「接遇」の項目についてさらなる教育や評価の充実を図りました。しかしながら、評価が下がっている部署もあることから、引き続き接遇に関する教育の充実を図っていきます。

研修管理委員会

目的

将来プライマリーケアに対処し得る第一線の臨床医、あるいは高度の専門医のいずれを目指すにも必要な診療に関する基本的な知識・技能及び態度を修得するための臨床研修プログラムを作成・管理し、臨床研修に関する事項について協議することを目的としています。

活動状況

- 第1回 2015年6月9日(火) 17:45～18:15/指導医研修会受講状況確認、研修医募集定員の確認
- 第2回 2015年9月30日(水) 17:30～18:00/マッチング中間発表報告、委員会開催日程を固定化
- 第3回 2015年12月21日(月) 17:30～18:00/マッチング最終結果報告、説明会スケジュール確認
- 第4回 2016年2月24日(水) 17:30～18:00/研修修了判定(問題なし)

重点目標・評価と来年度への展開

2015年度は基幹型研修医の採用がなく、2年次の基幹型研修医1名、協力型研修医1名が在籍しました。現在在籍する研修医の研修環境の更なる充実と、研修医の確保に向けての積極的な活動を重視した年度となりました。研修医の確保については、新・鳴滝塾と連携した病院見学の積極的受け入れや、説明会への参加を行いました。また、2015年度からは長崎大学第一外科の高次臨床実習(6年生)が本格的にスタートし、以前から受け入れていた長崎大学第一内科の高次臨床実習と合わせて、学生に当院の強みをアピールする場としました。さらに、5年生の地域病院実習も開始され、後々の研修先として当院を希望してもらえるようなプログラムを作成しました。以前からの活動が徐々に実り、マッチングの結果2016年度は基幹型研修医2名を迎えることになりました。2016年度以降も採用活動に力を入れ、いずれは基幹型研修医の定数4のフルマッチを目指したいと思います。

院内感染対策委員会

目的

病院内における感染症の発生を積極的に防止し、院内衛生管理に万全を期することを目的としています。

活動状況

- 委員会:毎月1回開催(第2木曜日) ■感染対策地域連携加算に伴う相互査察:全4回開催
- 感染防止対策加算I・II合同カンファレンス:全4回開催
- 各ワーキンググループ活動:教育広報チーム、マニュアル検討チーム、ICT(感染管理チーム)

重点目標・評価と来年度への展開

近年、さまざまな耐性菌の出現により院内感染対策の重要性が一層高まっています。委員それぞれが正しい知識を持ち、院内感染防止に努めます。また感染管理加算I・IIの施設との合同カンファレンスや相互査察を通して、より一層医療の質向上に向けて活動していきます。

学会・研修会への参加実績

日本医療マネジメント学会 第16回長崎支部学術集会 発表:臨床検査技師1名

栄養管理委員会

目的

栄養管理委員会は、栄養サポート・褥瘡対策・摂食嚥下対策(口腔ケア、摂食嚥下)を担い、入院患者の栄養面・身体面の問題点を多職種で検討し、社会・在宅復帰をサポートする事を目的に活動しています。

活動状況

項目	目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/達成率
褥瘡発生率%	2.0%	1.3	0	0	0	0	0.42	0.42	0.45	1.79	0.4	2.0	1.9	0.72%(平均)
NST介入件数	550件	63	41	56	64	40	28	45	31	49	53	46	49	565件/103%

重点目標・評価と来年度への展開

- (1)NST ①定期的なスクリーニングとカンファレンスの定着実施 ②栄養情報提供者の評価と共有
③NST加算算定
- (2)褥瘡対策 ①定期的なラウンドによるスキンケア確認 ②院内教育の強化
- (3)摂食嚥下対策
口腔ケア ①口腔アセスメント結果の職員への共有 ②口腔アセスメントの退院時サマリー活用
嚥下回診 ①NST・脳外カンファレンスを利用した、職員への「口から食べられること」の意識付け
②嚥下カンファレンスでの効果的な介入プログラムの立案

今年度も各チームが質の向上を目指し行動しました。特にNSTカンファレンスは、NST専従、専任、各メディカルスタッフの協力の元、年間を通して定着できました。また、口腔ケア回診も定着し、職員が「食べられる口をつくる」ことの意識も高まり、在宅を意識した活動ができつつあります。今後も更に質の向上への取り組み、各チームが早期から介入し、患者の健康管理を支援、協働して質の高い医療の提供を目指したいと思っています。

学会・研修会への参加実績

- ①日本経腸静脈栄養学会認定 NST専門療法士取得:薬剤師1名
- ②平成27年度日本経腸静脈栄養学会 参加:看護師1名、管理栄養士1名
- ③近森病院NST研修(3ヵ月コース):管理栄養士2名 ④久留米大学NST40時間研修:管理栄養士1名

防火管理委員会

目的

院内の防火管理に努め、職員への啓蒙ならびに防火訓練・避難訓練・防災訓練などの実施を通して、火災・防災予防意識の向上を図ることを目的としています。

活動状況

■訓練

- ①2015年 6月 9日 3階西病棟 消防訓練
- ②2015年 6月15日 3階南病棟 消防訓練
- ③2015年 9月10日 大規模災害受入訓練
- ④2015年10月27日 停電対応訓練
- ⑤2015年11月 9日 3階東病棟 消防訓練
- ⑥2015年11月20日 4階西病棟 消防訓練
- ⑦2016年 3月24日 全館 地震避難訓練



■消防用設備点検

1月・7月の年2回実施。

■防火啓蒙

毎日20時に防火啓蒙放送を行い、患者さんおよびご家族へ防火を呼びかけています。

重点目標・評価と来年度への展開

■患者さんの安全を守るために、消防のハード・ソフトの向上を目指しています。

労働安全衛生委員会

目的

職員の健康確保並びに労働災害の防止を目的としています。

活動状況

- 毎月第3金曜日定例委員会開催
- 労働安全衛生News発行
- アンケートの実施
- メンタルヘルス講演会(2015年10月7日)
- 医療放射被ばく防護研修(2015年9月、2016年2月)
- 職場巡視

重点目標・評価と来年度への展開

職員の健康障害の防止および健康の保持増進のために各種研修や講演会を実施するとともに、職場巡視をスタートし安全快適な職場環境づくりへ取り組みました。

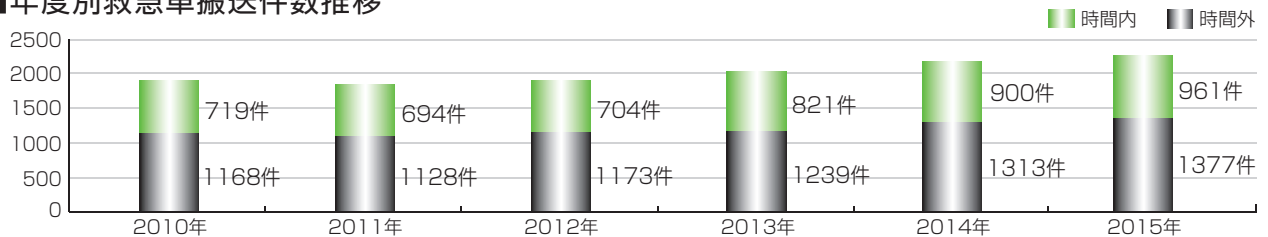
救急部運営委員会

目的

- 救急車搬送数の増加と救急外来からの入院率増加に繋げる。
- 多職種協働によるチーム医療を展開することで、患者さんが安全・安心して治療を受けることができる。
- チームワーク力を発揮し、観察力・判断力を養い予測しながら行動できる。

活動状況

■年度別救急車搬送件数推移



■活動内容

- ①救急部運営会議の実施(2回/年)
- ②救急看護認定看護師による、専門的知識・技術習得のための分散教育実施(3回以上と臨時開催)
- ③救急部症例検討会の実施
- ④多職種協働による時間外・時間内のスムーズな患者搬送受け入れ

重点目標・評価と来年度への展開

- 的確な症状別問診とトリアージ導入後の評価を行い、救急看護の質向上を目指します。
- 救急チームの構築と活動を行います。
 - ①救急外来における教育体制づくり(救急シミュレーション・分散教育・症例検討会)
 - ②救急外来システムの構築

薬事委員会

目的

医薬品の選定・購入・配布・使用及び廃止等の適正化、および医薬品購入額の削減を図ることを目的としています。

活動状況

- 年間開催数 薬事委員会:5回 デッドストックアンケート:1回
- 協議事項
 - ①医薬品の新規採用の可否:新規採用 35品目、臨時採用 30品目
 - ②既採用医薬品の再評価・廃止:採用削除薬剤 50品目
 - ③後発医薬品への変更の可否:変更薬剤 10品目

重点目標・評価と来年度への展開

- 新規・臨時採用薬は2014年度(74品目)と比較すると減少しています。来年度も採用医薬品数の増加を防ぐために、新規採用時の同種同効薬との比較検討、不動医薬品の採用継続の見直しを重点的に行い、医薬品購入額の削減を目指します。
- 後発医薬品の使用推進を目指し、変更品目数は2014年度と比較すると減少しましたが(2014年度:24品目)、2015年度は使用量が多い医薬品、高額な医薬品を重点的に変更しました。来年度も後発品使用量率を低下させないよう先発品からの変更を継続して検討します。

クリニカルパス委員会

目的

医療全般を標準化したクリニカルパスを運用し、医療の質の保障と患者さんの安全の確保を目的としています。

活動状況

■院内クリニカルパス大会(2015年11月27日)参加者：161名

テーマ：「 整形外科病棟開設から1年 ～クリニカルパスの運用報告～」

第1部:整形外科医師による疾患に関する講話

宮原 健次 先生「大腿骨頸部骨折のパスをよりよいものにするには」

北原 博之 先生「肩腱板修復術後にハリアンスを起こす要因とは？」

第2部:3階南病棟・各職種によりパスについての運用報告

「地域包括ケアを見据えた大腿骨頸部骨折地域連携パスの取り組み」地域医療連携課 本主任

「整形外科病棟におけるクリニカルパスの運用状況」3階南病棟 久保田看護師

「クリニカルパスに沿ったリハビリの関わりについて」リハビリテーション部 岡PT

■各部署でのクリニカルパスの新規作成・見直し改訂をおこなっています。

他職種を含めて、3つのワーキンググループに分かれ年間を通して活動しています。

重点目標・評価と来年度への展開

■各部署の委員を中心に、計画的にパスの見直しを行います。

■委員会が多職種で構成されている利点を活かし、多職種で協働してパス作成に取り組みます。

医療情報管理委員会

目的

電子カルテを中心とした医療情報システムの構築および医療情報の円滑かつ効果的な管理・活用を行うことを目的としています。

活動状況

■協議事項

- ①医療情報システムの中・長期計画に関すること
- ②医療情報システムの開発・運用に関すること
- ③医療情報システムを利用する職員の教育に関すること
- ④地域医療連携ネットワークに関すること
- ⑤診療情報の管理・運用に関すること
- ⑥診療録およびフィルム管理・貸出・廃棄に関すること
- ⑦関連規定の策定および見直しに関すること

重点目標・評価と来年度への展開

■規定の見直し

運用管理規定・運用細則の適宜見直しを行います。

■未読者管理

重要項目伝達時の未読をなくすために管理者が未読者のチェックを行います。

■過去の実績

PREMISs(医療情報システム安全管理評価制度)の取得

HOMES BIの利用促進 など